

クルーズサマリー

1. 航海情報

(1) 航海番号： KH-19-6 Leg4

(2) 使用船舶： 白鳳丸

(3) 航海名称

ウエッデル海～南太平洋における海洋地球科学総合横断観測：白鳳丸 30 周年記念航海の実現

(4) 主席研究員

池原 実 (高知大学)

(5) 研究代表者

SH19-23 池原 実 (高知大学)

H19-05 野牧 秀隆 (海洋研究開発機構)

(6) 研究課題名

SH19-23 ウエッデル海～南太平洋における海洋地球科学総合横断観測：白鳳丸 30 周年記念航海の実現

H19-05 サウスサンドイッチ海溝-ウエッデル海における底層生態系とマイクロプラスチック汚染の実態把握

(7) 航海期間

2019/12/19 ～ 2020/01/16

(8) 出港～帰港

Punta Arenas 港 Mordones 岸壁 ～ Cape Town 港 Landing 岸壁

(9) 調査海域

南大洋大西洋区 (ウエッデル海・スコチア海)

2. 調査概要

南大洋大西洋区 (ウエッデル海・スコチア海) において海洋地球科学総合観測を実施した。航海中、地球物理航走観測 (マルチナロービーム海底地形、プロトン磁力計、三成分磁力計、船上重力計、サブボトム地層探査など)、ピストンコア採泥、マルチプルコア表層採泥、岩石ドレッジ (底生生物採集)、プランクトンネット採集、表層海水採取、海氷採取を実施した。観測の結果、世界最南端の海溝におけるコア採取の成功や珪藻マットの回収、700kg を超える岩石サンプルの採取、水深 5000m を超える海溝での底生生物採集など多くの研究試料・データを取得した。今後、南大洋大西洋区における古海洋変動、テクトニクス、底生生物やマイクロプラスチックの分布特性などに関する陸上研究が行われる予定である。